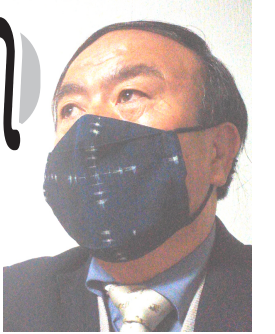


新型コロナの「第三波」襲来、検査体制を抜本的に拡充し、医療体制を守れ



支持者の方からいただいた手作りのマスクをする村上議員

11月20日、
新型コロナの
感染者が急増
していること
から、日本共
産党釧路市議
団は釧路市に
対して、「①

大至急、PCR検査センターを開設すること。②PCR検査体制を拡充し、軽症者等に対応する宿泊療養施設を確保すること。③医療・介護・福祉施設関係者と教育機関の関係者全員のPCR検査を実施すること。④検査費用は全額国が負担するよう要請すること。⑤誹謗や中傷が行われないように、市長が釧路市としてしっかりとした宣言を行うこと。」の5点を緊急に要請しました。

PCR検査と宿泊療養施設を急げ

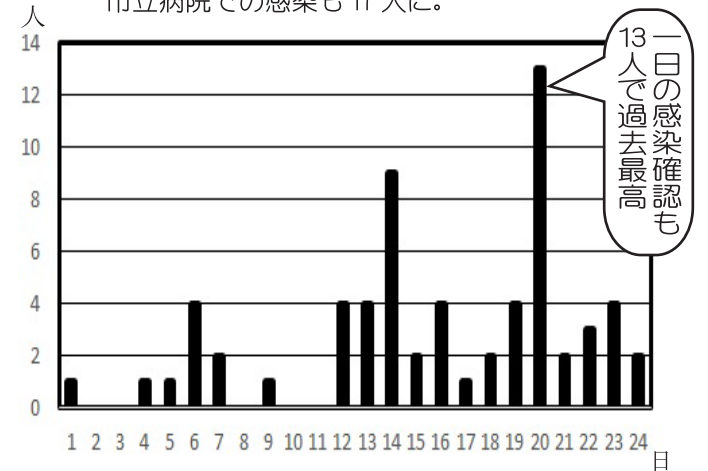
PCR検査センターについて、伴副市長は

「近々、開設できます」と答えましたが、患者急増期に開設が間に合わなかったことは、市の着手が決定的に遅れたためです。現在の感染流行を考えると、PCR検査センターができれば大丈夫とはとても言えません。検査体制の拡充が必要です。軽症者向けの宿泊療養施設の確保は、病院の負担軽減にとっても、患者の重篤化を防ぐ点でも決定的です。「道にお願いしています」と伴副市長は答えましたが、「19日には、函館市は副市長を道庁に派遣し、直接開設を要請しました。市もこうした取り組みが必要です。道の判断を待つのではなく、市の要請で道を押し切るような取り組みを。」と強く求めました。



新型コロナの陽性者の急増を受けて、党議員団が緊急の申し入れ。要請文を手渡す村上かずしげ議員団長（左端）とそれを受け取る伴副市長。

11月24日時点ですでに64人が新規感染。市立病院での感染も17人に。



ホテルを
貸し切つての

人事院勧告

コロナ禍で自分の命を削って不眠不休でがんばる看護師・保健師を含め、公務員のボーナスを一律に削減!?

公務員の賃金改定に大きな影響を与える人事院勧告。今年はボーナスを0・05か月引き下げる勧告でした。各自自治体はこれを参考に議会でボーナス削減を決めます。人勧通りに決まってしまうとコロナ禍の中、休日返上で最前線でコロナと闘う市立病院の医療職も、PCR検査、感染経路の追跡と、必死に頑張っている保健師も引き下げになります。多くの公務員はコロナの中でも市民サービスを維持するために必死です。そのことに応えない引き下げの勧告は大問題です。もちろんコロナ禍で民間でも賃金引き下げ、ボーナスカットは広く行われています。しかし、「公務員だって削減するから」と言っただけで、民間の賃金のさらなる引き下げの口実にされては、たまったものではありません。



取材するNHKのクルー

21日、市内北部ブロックが中園ホームック前で合同街頭宣伝を実施、あいにくの雨模様でしたが、24人が集まり、のぼり、プラスターでにぎやかに宣伝しました。この宣伝をNHKテレビが取材、そのあと屋内で石川明美さんと、村上かずしげ党地区委員長に、「菅内閣をどう見るか」「7区での野党共闘の見通し」「有権者に訴えたいこと」などをインタビュー。12月8日に放送される予定です。

NHKが梅津市議の地域合同街宣を取材
石川明美さん、村上かずしげ党地区委員長のインタビューも含め、12月8日に放送予定

